



とびら

第44号

2025.11



ふれあいのつどい 鹿島地区 10月16日

トピック

- 震災復旧最優先令和6年度決算 2-6
- 町政を問う 損害賠償請求など 9月定例会議 7-12
- 視察レポート 14
- 音楽イベントでインタビュー／編集後記 16

過去の
議会だより



二次元コードを読み
取ってご利用下さい。

令和6年度決算

一般会計

歳入 171億3,787万円	
町税	16億5,947万円
国から	85億9,942万円
県から	13億4,501万円
その他収入	30億5,315万円
町債	24億8,082万円
歳出 161億9,385万円	
総務費	20億 255万円
民生費	34億7,823万円
衛生費	46億8,100万円
労働費	1,007万円
農林水産業費	6億6,857万円
商工費	1億3,269万円
土木費	16億6,429万円
消防費	3億9,655万円
教育費	10億9,243万円
災害復旧費	7億2,903万円
公債費	12億5,000万円
議会費	8,844万円

特別会計

(千円以下は四捨五入)

特別会計	歳 入	歳 出
後期高齢者医療	3億 544万円	3億 462万円
介護保険	25億3,296万円	24億7,626万円
国民健康保険	18億1,861万円	17億9,318万円
分譲宅地造成事業	1,957万円	1,957万円
ケーブルテレビ事業	1億6,188万円	1億6,180万円

水道事業会計

収 入	支 出
収益的収支	5億4,844万円
資本的収支	4億9,283万円
	1億 689万円
	3億3,136万円

※資本的収入額が資本的支出額に不足する額2億2,447万円は、消費税資本的収支調整額1,108万円、過年度損益勘定留保資金2億1,339万円で補填した。

下水道事業会計

収 入	支 出
収益的収支	13億6,457万円
資本的収支	13億4,932万円
	10億6,613万円
	13億6,886万円

※資本的収入額が資本的支出額に不足する額3億273万円は、当年度損益勘定留保資金3億273万円で補填した。

町の貯金・借金（基金・地方債）

基 金	年度末残高	地方債	年度末残高
財政調整基金	37億6,888万円	一般会計	121億9,889万円
減債基金	1,069万円	水道事業会計	28億3,738万円
その他特定目的基金	18億5,436万円	下水道事業会計	65億1,482万円
介護保険特別会計	2億5,089万円	合 計	215億5,109万円
国民健康保険特別会計	4億3,033万円		
合 計	63億1,515万円		

審査結果について

－ 質の高い行財政運営を －

甚大な被害を受けた令和6年能登半島地震から約1年半が経過し、復興に向けた取組みやインフラの復旧においても少しずつ進んでいることが見え、その復興に係る費用においては地方特例交付金や国庫支出金が昨年に比べ増加している。それでもなお、復興に係る費用の相当額を当町が負担しなければならない状況は相当なものだと窺える。

依然として、燃料価格や物価高騰による影響、加速化する人口減少など、先行きが不透明な状況は変わらず、厳しい社会・経済情勢が今後も継続することが想定されることから、厳しい財政運営が懸念され、その対応が強く求められている。

こうした中、将来を見据えた持続可能な財務体質を保持していくためにも、引き続き、国・県の動向を注視しながら情報収集を行い、限られた財源の中で創意工夫を凝らした質の高い行財政運営・健全化等に努め、当委員会での審査の過程における指摘・意見・要望事項を踏まえ、今後の予算編成に繋げることを求める。

一般会計、各特別会計並びに水道及び下水道事業の歳入歳出決算は全会一致でそれぞれ認定しました。なお、決算報告書は定例会議最終日に町長へ提出しました。

令和7年度9月定例会議

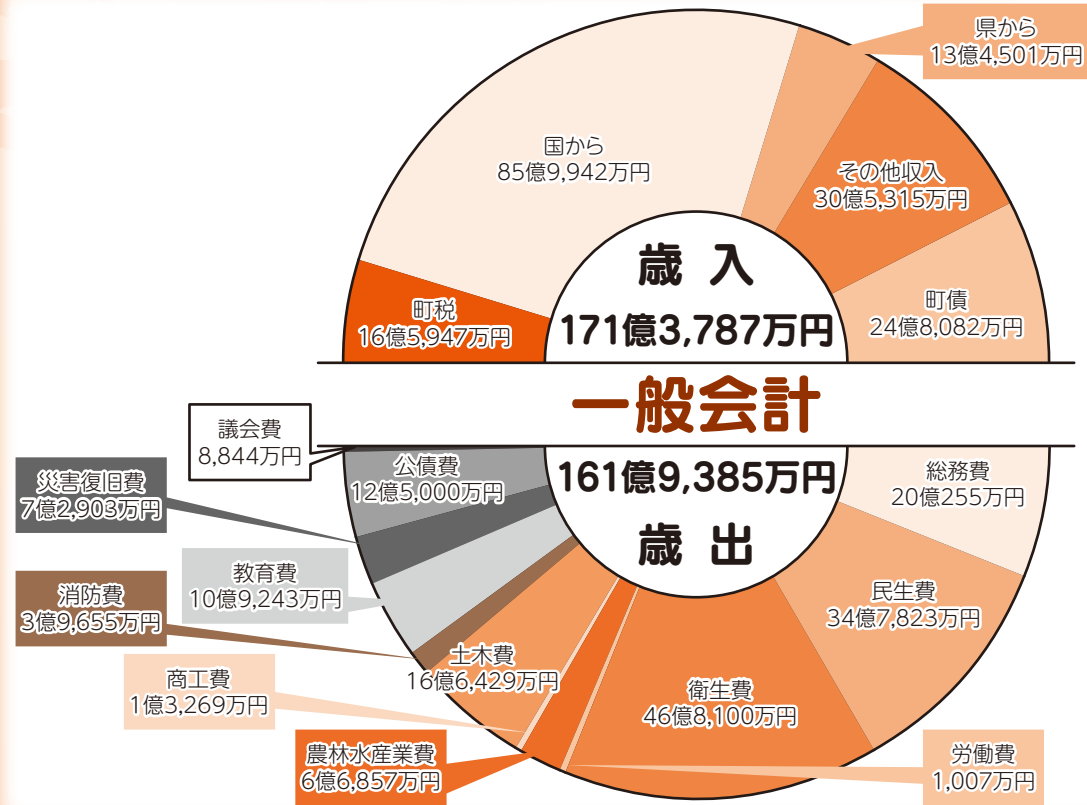
9月定例会議が9月5日(金)から24日(水)までの20日間の日程で開催されました。

5日(金)に執行部から専決処分の報告が1件、条例制定及び条例の一部改正についての議案4件、令和7年度補正予算7件、中能登町過疎地域持続的発展計画の変更についてと町道路線の認定についての議案2件、令和6年度決算認定8件が提出されました。

8日(月)に総務建設常任委員会が開催され提出された議案について審議を行い9日(火)、10日(水)、11日(木)、12日(金)の4日間で令和7年度補正予算及び令和6年度決算認定が予算決算常任委員会で審議されました。

18日(木)、19日(金)に一般質問が行われ9名の議員が登壇。

最終日24日(水)に追加案件として物品購入の締結について4件、工事請負契約の締結について1件が提出されました。全議案中1件が賛成多数、17件が全会一致で可決されました。



令和6年度 主な事業

総務課 定額減税補足給付金 1億2,833万円 給付金 1,156人分	企画情報課 公共交通 5,363万円 おりひめバス・デマンド タクシー運行等	長寿福祉課 物価高騰対応 1億3,218万円 物価高騰対応重点支援地方創生 臨時交付金(国)の対象事業	生涯学習課 体育施設等維持管理 1億767万円 体育施設及び 公園施設の維持管理
土木建設課 災害救助費 3億3,810万円 応急修理 申請件数804件	住民窓口課 被災者生活再建支援 2億1,085万円 住宅の再建	土木建設課 災害復旧工事 5億2,054万円 被災した道路・河川の 復旧工事	生活環境課 災害廃棄物等処理 36億7,447万円 公費解体、廃棄物仮置場 管理運営費等

令和6年度決算 委員からの主な質疑と答弁

地域おこし協力隊

- Q** 活動が把握しづらいため、情報発信をして欲しい。
- A** 不定期ではあるが、年1回程度広報に活動報告を行っている。

森林環境譲与税事業

- Q** 間伐材利用商品購入等事業とは具体的にどんなか。
- A** 県内産の間伐材を利用して積み木を作成し、初誕生の記念品として配布している。

ふるさと納税

- Q** 寄付件数が、前年度比約11,000件減少したが来年度の対策は。
- A** 約5,000件は返礼品無しの災害支援金としていただいたもの。地方創生アドバイザーと新商品の開発に努める。

部活動地域展開

- Q** 外部指導者導入出来ない6部活について今後の計画は。
- A** 全ての部活が移行出来るように少しずつ進めたい。

出産祝い金

- Q** 出産祝い金第5子以降50万円が上限だが、増額の予定はあるか。
- A** 財政状況に応じて、慎重に協議する。

令和6年度事業 現地視察

【分譲宅地『春木』造成工事】

1,646万円

内容：造成工事 1,519 万円
上下水道事業費分担金 127 万円

春木地内において、4区画の宅地造成工事を行い、新たな定住促進を図ります。



【道路災害復旧工事】

2,601万円

工事名：6災5308号 町道T-40号線
道路災害復旧工事

春木地内三ツ池付近で、震災により被災した町道の復旧工事を行い、交通の確保を図ります。

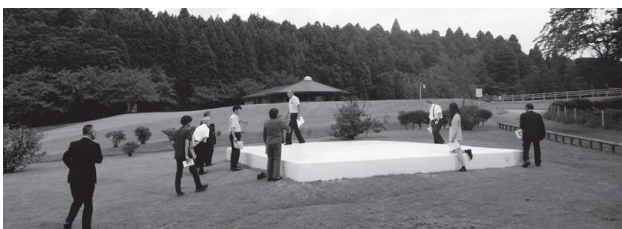


【古墳公園とりや 遊具更新】

1,800万円

内容：遊具解体工事 237 万円
遊具設置工事 1,496 万円
張芝工事 67 万円

遊具の安全性を確保する上で、経年劣化の遊具を解体し、幼児から児童にも優しい安全安心な遊具を新たに設置しました。



【久江住宅解体工事】

4,471万円

工事内容：久江住宅解体工事 15戸
防草シート工 15戸

老朽化及び耐震基準を満たさない町営久江住宅の解体工事を行いました。



採決の結果

○：賛成 ×：反対 退：退席 除：除斥 欠：欠席
議長は、採決には加わりません。 ※可否同数の場合は議長裁決

議案番号	議 案	木下 智治	三浦 克欣	合田 宏	角 久子	澤 良一	古玉 いづみ	尾田 良一	土本 稔	笹川 広美	南 昭榮	甲部 昭夫	坂井 幸雄	結 果 (賛成：反対)
7月随時会議 7月31日														
議案 第8号	令和7年度中能登町一般会計補正予算	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	—	○	欠	可決 (9:0)
議案 第9号	令和7年度中能登町水道事業会計補正予算	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	—	○	欠	可決 (9:0)
議案 第10号	工事請負契約の締結について 令和7年度 6災5332号 町道R-149号線外2 路線 道路災害復旧工事	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	—	○	欠	可決 (9:0)
9月定例会議 9月5日～9月24日														
議案 第11号	中能登町一般職の任期付職員の採用等に関する 条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	欠	可決 (10:0)
議案 第12号	中能登町職員の勤務時間、休暇等に関する条 例及び中能登町職員の育児休業等に関する条 例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	欠	可決 (10:0)
議案 第13号	情報通信技術の活用による行政手続等に係る関係者の 利便性の向上並びに行政運営の簡素化及び効率化を図 るためのデジタル社会形成基本法等の一部を改正する法 律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	欠	可決 (10:0)
議案 第14号	中能登町議会議員及び中能登町長の選挙にお ける選挙運動の公費負担に関する条例の一部 を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	欠	可決 (10:0)
議案 第15号	令和7年度中能登町一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	欠	可決 (10:0)
議案 第16号～21号	令和7年度特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	欠	可決 (10:0)
議案 第22号	中能登町過疎地域持続的発展計画の変更につ いて	○	×	○	○	×	○	×	○	○	—	○	欠	可決 (7:3)
議案 第23号	町道路線の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	欠	可決 (10:0)
認定 第1号～第8号	令和6年度中能登町一般会計歳入歳出決算認定 令和6年度中能登町特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	欠	可決 (10:0)
議案 第24号	物品購入契約の締結について 令和6年度 新しい地方経済・生活環境創生交 付金 防災倉庫購入事業	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	欠	可決 (10:0)
議案 第25号	物品購入契約の締結について 令和6年度 新しい地方経済・生活環境創生交 付金 避難所備蓄品購入事業	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	欠	可決 (10:0)
議案 第26号	物品購入契約の締結について 令和7年度 在宅複合施設「ほのぼの」特殊浴 槽購入	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	欠	可決 (10:0)
議案 第27号	物品購入契約の締結について 令和7年度 在宅複合施設「ほのぼの」送迎用 福祉車両購入	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	欠	可決 (10:0)
議案 第28号	工事請負契約の締結について 令和7年度 災害復旧事業(令和6年災)黒氏地 区揚水機(4070-6023)復旧工事	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	欠	可決 (10:0)

■ ひきこもり対策支援施設詳細設計 660万円

Q 今後人的な予算は考えているのか。また教育委員会との連携は。

A 現在ひきこもり支援事業を委託している町内の2つの障害相談支援事業所へ運営、管理をお願いしようと考えている。校内支援ルーム（ほっとルーム）の校外版にしたいと考えている。子どものことをよくわかっている方を派遣したい。

■ かしま児童館活動室エアコン設置 253万円

■ 公共施設等LED化アドバイザー業務 812万円

140の公共施設で未着手となっている照明更新のアドバイザー業務等。そのうち98施設において2年間の電灯交換工事費及び10年間の維持管理の債務負担行為。（令和8～19年度） 35億円

■ 中能登町家庭用防災グッズ 3,295万円

各家庭での備蓄を促進するために町内全世帯へ防災グッズ専用のカタログギフトを配布し自助を強化。

■ 中能登町総合型地域スポーツクラブ

クラブアドバイザー業務 88万円

専門知識のある方にアドバイザーとなってもらい関係機関とのワークショップなどを開催予定。令和8年度中の中能登町総合型地域スポーツクラブ設立を目指す。



■ 討 論

提出された議案に対して、議員が賛成・反対の意思をあらわして、議案の成立の可否が決定します。



賛成

土本議員

過疎債は重要な財源

議案第22号「中能登町過疎地域持続的発展計画の変更」に賛成する。

中能登町は、人口減少により令和4年4月から町内全域が過疎地域として、国から指定を受けた。この計画に必要な事業を盛り込むことで、有利な交付税措置を受けることができ、過疎債を活用できる。財政力の弱い自治体にとって、過疎債は重要な財政支援策であり、追加される事業は、町単土地改良事業、地区要望事業、学校教育関連施設に関する事業など大切な事業である。



反対

澤 議員

十分な検証も説明ない

議案第22号「中能登町過疎地域持続的発展計画の変更」に反対する。

本計画は住民生活より過疎債確保を優先し、形式的かつ恣意的である。「見直し」と称しながら新規事業を積み増し、議会への十分な検証も説明もなく、県依存と透明性欠如が顕著。以上、計画の信頼性・説明責任・実効性の欠如から私は反対する。



反対

尾田議員

議論が不十分

議案第22号「中能登町過疎地域持続的発展計画の変更」に私は以下が不十分と考えるので反対する。

1. 今年3月まであった中山間地域への補助がない。
2. 積極的に世界農業遺産であるという意識の覚醒を促したい。
3. 戦後の教育において等閑（なごり）にされてきた教育理念、「日本人どうあるべし」を考える場が必要なのではないか。先人も「人をつくることが大切だ」、「徳ある者には地位を与えよ」として、内面の重要性を説いている。



題字 桜鱗氏（中能登町在住書家）

校長先生にインタビュー



石川県立鹿西高等学校 横田 禎 校長

第22代校長の横田と申します。赴任2年目です。海、空、山を眺めながら金沢から通勤しています。

一昨年、本校は50周年という記念すべき節目を迎えました。次の60周年、さらには100周年に向け、校訓にある「創造、実践、躍進」を続け、発展させたいと考えています。これまで本校は、中能登町の皆様からたくさんのご協力、ご支援をいただきながら確かな歩みを続けてきました。感謝申し上げます。「中能登町とともにある鹿西高」が「日本一 生徒が伸びる 鹿西高」と言われるよう教育活動を進めていきますので今後ともよろしくお願いいたします。

本校は現在、少子化等の影響もあり、生徒数の減少や定員割れといった課題に直面しています。能登地区の多くの学校がこの課題に直面し、解決のために具体的な取り組みを強化しています。地元の中学生の地元高校への進学者数の増加はもちろんのこと、地元中学校以外からの進学者数も増えるよう強力な経済的支援等をいただいている高校があります。中能登町におかれましても、本校への今まで以上の支援を是非とも検討していただきたいと思います。

一般質問に9人が登壇

澤 良一議員…………… 8P

・損害賠償請求

給食業務受託者への対応は

・メディカルパーク構想

公費投入の結果、白紙撤回の責任は

木下 智治議員…………… 8P

・体育施設の空調設備

空調設備の導入を問う

・家具固定の促進

地震対策における家具固定の促進を

笹川 広美議員…………… 9P

・若者支援

ユースの居場所作りを推進せよ

古玉 いづみ議員…………… 9P

・猛暑対策

高齢者への猛暑対策支援を

・子どもたちの夏休み

夏休みをより有意義なものに

甲部 昭夫議員…………… 10P

・忠魂碑等の修復

忠魂碑等の修復への対応は

・庁舎統合

現状と今後の計画は

合田 宏議員…………… 10P

・オンデマンド交通

導入の検討を

・学校での補食

補食導入の検討は

角 久子議員…………… 11P

・生徒確保

鹿西高校生徒確保に補助は

・水道管

耐久性の低い铸铁管の使用は

三浦 克欣 議員…………… 11P

・住宅の耐震化

住まい再建の独自の支援策を

・避難所の運営

民間活力で快適な避難所運営を

土本 稔議員…………… 12P

・社会教育施設

方向性を示せ

・保育園空調設備

遊戯室に空調設備導入を

一般質問

二次元コードを読み取ってご利用ください。

9月18日午前



9月18日午後



9月19日午前





議員 良一 沢さわ

損害賠償請求

**問 給食業務受託者への対応は
答 監査意見もあるので精査したい**

Q 監査意見書は、共立ソリューションズが、給食の炊飯業務を外部に再委託していた事実を確認し、契約違反として損害賠償の発生を指摘した。自治体の再委託は原則禁止されている（民法第632条、第656条）。町が請求をためらう法的根拠を示せ。

A 人員不足で給食の炊飯ができず県に依頼したと聞いている。実態が十分に把握できていなかった。

Q 監査もこれを法令違反と認定し、損害賠償を求めている。監査の指摘を放置すれば、住民監査請求や訴訟に発展しかねない。町長としての対応を聞く。

A 東京から来る派遣会社と話し、人材確保に努めたい。

Q それは共立ソリューションズのやること。町長は、町民から預かった財産を無駄にせず、しっかり守り有効に活用すること。責任者としてどうするのか。

A 監査委員も言っているので、また、もう一度執行部と話し精査したい。

議員のひと言

町の監査委員は給食の炊飯業務受託者の法例違反を認め、損害賠償を促している。業者へは我々の血税が支給されている。『守るべきはどちらでしようか』

メデイカルパーク構想

**問 公費投入の結果、
白紙撤回の責任は
答 私の責任であり、
深くお詫びしたい**

Q 町長は「責任は私にある」と述べられたが、言葉ではなく、その責任をどう果たすのか。実際この構想を推進した会議資料は、全て黒塗り。町民には実態を知らせず、不透明な進め方が、白紙撤回に至る原因の一つではないか。

A 本当に申し訳なく思っている。今後、このようなことの無いようやっていく。

Q 今町民が求めているのは、構想の経緯や判断の誤りを明らかにし、無駄となった公費投入の責任を町として示すこと。その行動こそが「私の責任」ではないか。

A 私自身、構想実現に向けて医師の確保や用地交渉を進めてきた。

議員のひと言

「誰がどう判断を誤ったのか」「我々の血税が何故無駄に終わったのか」「町長には説明責任を果たして頂きたい」



議員 智治 木下

体育施設の空調設備

**問 空調設備の導入を問う
答 今後検討する**

Q 体育施設の空調設備の現状と夏季の利用実態を問う。

A 町内7施設、いずれの施設も空調は未整備。春季と比べ利用者の増減はない。利用頻度の高い施設から優先的に設置が最善の方法であると考える。

Q 空調設備導入には多額の費用が必要となる。具体的な予算措置をどのように考えているか。

A 様々な補助事業等を研究している段階である。

Q 今後の展望と町民への情報提供は。

A 多額の費用が想定され、一度にすべての体育施設に導入することは、難しい。具体的なスケジュールは、現時点でお知らせすることは難しい。

家具固定の促進

**問 地震対策における
家具固定の促進を
答 自らの命を守るため
重要な施策である**

Q 家具固定の現状と、町民の防災意識向上に向けた取り組みは。

A 「自助」の防災意識を高めるために普及啓発を重点的に行っており、命を守るための行動、日頃からの備えとして、家具固定に関する周知をしている。

Q 補助金制度の具体的な内容は。

A 家庭用備蓄整備促進事業の予算を計上。その中には、事前の備えとして、家具転倒防止の商品もある。

議員のひと言

今出来る事をひとつずつ確実に！



ささかわ ひろみ 議員
笹川 広美

若者支援

問ユースの居場所作りを推進せよ

答今後の研究課題としたい

○若者への居場所の提供が地域社会との橋渡しをサポートする★ユースワーカーと連携した中高生の居場所作りができないか。また、★ユースクリニックの開設へ関係団体と調整できないか。

○人材の確保が課題である。

○能登部駅前に憩いの場を創出できないか。

○民有地のため様々な課題が考えられる。

○ユースクリニック開設への第一歩として、常設で無くても週に何回とか、庁舎の空室や商業施設の一角を利用するなどのアクションを起こせないか。

○若い人が集まる場は良いと感じるので担当課と話していきたい。

★1「ユースワーカー」

家庭・学校・職場以外の場所でも、こども・若者の成長を後押しし、社会の一員として活躍できるよう支援する人。

★2「ユースクリニック」

思春期から若年成人期までを対象に心身の健康や性の悩みに専門的かつ包括的なサポートを提供する。

議員のひと言

中高生・若者が可能性を広げ、未来へ輝いて行けるようユースワークの積極的な取り組みを！

その他の質問

▼高齢者の間こえの支援

▼介護予防ポイント事業

▼学童の夏休みの壁



かなざわユースセンター



わじまティーンラボ



こたま いづみ 議員
古玉いづみ

猛暑対策

問高齢者への猛暑対策支援を

答何とかしたい思いはある

○今年の夏も猛暑となり、全国各地で最高気温を塗り替えた。そして熱中症搬送者数は過去最多となっており、熱中症が原因の死者は6割超が75歳以上である。国民年金満額で6万9308円の年金生活の高齢者にエアコン購入補助を出す考えはないか。

○今年度の中能登町の熱中症緊急搬送は19件で年々増加。高齢者には熱中症予防の注意喚起や見守り活動を実施している。現在エアコンを購入したくてもできない低所得者に対して、中能登町社会福祉協議会が条件付きで無利子または低利子で利用できる生活福祉資金貸付制度の相談を行っているので利用してほしい。

○今まで憩いの場として集っていた天平の里やゆうゆうに行けなくなり家に引きこもっている高齢者についてどう考えるか。

○何とかそういう方にも手厚くしたい思いはあるのでこれから執行部で考えていきたい。

子どもたちの夏休み

問夏休みをより有意義なものに

答充実した夏休みと

なるよう考えていく

○猛暑のなか、小学校のプール授業日数、夏休みの解放日数は。

○授業日数は鳥屋18日、鹿島25日、鹿西26日。解放日数は鳥屋3日、鹿島2日、鹿西1日。

○屋根やテントをつけるなどプールに入れる日が増えるような対策は。

○解放の対策として時間帯を午前中に変えた。今後暑さ対策に維持管理等も含めてどんなものがあるのか調査が必要。

○夏休み期間に柔軟性を持たせてはどうか。

○夏休みに限らず他の長期休暇の兼ね合いも含めて模索していく。

その他の質問

▼DX化を加速化させよ

議員のひと言

高齢者も子ども達も楽しく安全に過ごせる夏にしていく対応を求めよう！



こうべ あきお 議員
甲部 昭夫

忠魂碑等の修復

閩忠魂碑等の修復への対応は

答町独自の補助金制度を創設し対応する予定

○忠魂碑等の修復について、町の義援金や国等の補助金を活用して対応できないか。

△国の支援、県の制度を活用し、町独自の補助金制度を創設する準備を進めている。補正予算を計上し対応したい。

庁舎統合

閩現状と今後の計画は

答役場庁舎統合整備

基本計画を策定

○人口減少が一層深刻化し、町民ニーズの多様化、高齢化に伴う行政サービスの複雑化、更には災害や感染症対策など、新しい課題が数多く発生しているが、町として十分に課題を検証し、対応に講じてきたの

か、今日に至るまでの20年余り分庁方式を続けてきた執行部として、この間、どのような問題があると認識しているのか、また、将来に向けて、町として懸念される課題は何か。

△分庁方式による問題点については、合併当初から今日まで分庁舎方式を採用しているが、全庁的な日常業務において、会議や決裁、事務処理の際には、人や文書の移動により、時間的なロスが発生し、業務の効率化における課題となっている。また、主となる窓口業務が行政サービス庁舎に集約されることで、ワンストップのサービス提供ができるようになったが、一方で、窓口を利用される方からは、場所が遠くなつて不便だとの声もいただいている。今後の庁舎の在り方については、能登半島地震の被害を受けた総務庁舎の状況を踏まえ、庁舎の復旧費と行政サービス庁舎への統合経費を比較検討するため、現在、中能登町役場庁舎統合整備基本計画の策定を進めており、この基本計画を基に、今後の事業計画を進めていきたい。



こうだ ひろし 議員
合田 宏

オンデマンド交通

閩導入の検討を

答町に合うものを検討したい

○公共交通の維持は、高齢化が進む町にとって、喫緊の課題である。先行事例について具体的に調査・分析を行っているか。国や県の補助金の活用を含め、具体的な計画があるか。

△AIオンデマンドバスやタクシー、ライドシェア導入など、国の制度やIT技術を活用した新しい運行体系について継続的に調査研究を実施し、先行事例を調査・分析するとともに町に合うものを検討していく。

議員のひと言

近隣市町は導入済み或いは検討しているのので地元の交通事業者と協議を望みます。



学校での補食

閩補食導入の検討は

答検討をする意向はない

○子どもの健康と学習能力向上のため学校での補食導入についてどのように検討するか。

△学校給食は、おかずのほか、主食である米飯やパンを提供する完全給食であり、必要な栄養を摂取できるような献立を作成し、提供している。完全給食を補う補食については間食にあたり、実施する予定はない。

議員のひと言

補食、特ににおにぎりを食べることがスポーツの能力向上にも有効と聞いている。

その他の質問

▼鹿西高校の生徒増加について





かど ひさこ 議員

生徒確保

問鹿西高校生徒確保に補助は 答魅力的な取組が重要

○人口減少の中、地域に根差した高校の存続は、教育方針の枠を超えて、町づくり全体に関わる重要なテーマである。そんな鹿西高校も50年を迎えた今、魅力発信しているが、新入生に、通学費補助、制服補助など、一部でも援助を。

△高校が主体となり、生徒が行きたいと思える魅力的な取組を実施することが重要。その取組に対し、支援をしていきたい。また、応援する組織の存在も必要だと感じる。

○卒業して地元に残る生徒に支度金、支援金などの考えは。

△町で出来ることは支援していきたいと考えている。



鹿西高校生徒

水道管

問耐久性の低い鑄鉄管の使用は 答鑄鉄管の使用はない

○全国各地で老朽化した水道管の事故が後を絶たない。2022年度の全国水道管の破損や漏水は2万件に上る。老朽化で耐久性が低下し、破損のリスクが大きい鑄鉄製の水道管の旧式管を国土交通省が全て撤去と言っていたが、当町で鑄鉄管を使用しているのか。

△町では、鑄鉄管の使用はない。また、浄水場や配水池について耐震工事を終えているが、町基幹管路の水道管耐震化率はおよそ33%となっており、今後、耐震化工事を計画的に行う。

その他の質問

▼上下水道の進捗状況は

議員のひと言
「この町で学びたい」「この町で暮らしたい」と思えるような環境づくりや支援の手を！」



みうら かつよし 議員

住宅の耐震化

問住まい再建の独自の支援策を 答「耐震シェルター」工事の補助制度を創設する

○地震が起きても、落ちない、倒れない、安心して暮らせる家づくり、町づくりの独自の支援策を講じてはどうか。

△住まいの確保にめどが立つことで生活再建が進む。被災者に寄り添った支援を継続する。

○耐震シェルター工事の助成金を町独自で行うのはどうか。

△なるべく早い時期に補助制度を策定する。

議員のひと言
言葉一つ、少しの支援で気持ちの前向きになります。引き続き町民一人ひとりに寄り添った支援を。

避難所の運営

問民間活力で快適な 避難所運営を

答全国の実証実験を 注視していく

○民間企業が「TKB48」の環境を整える避難所運営の実証訓練を全国で展開しているが、当町でも公民連携で実証訓練を招致し、検証してはどうか。

△民設民営の避難所運営のメリットを検証しつつ、各地での実証訓練を注視し、当町でも有効に活用できるのか情報収集・研究を行っていく。

★「TKB48」

Tトイレ、Kキッチン、Bベッドの環境を48時間以内に整えるイタリア式避難所運営

議員のひと言
TKB48避難所 中能登町で実現したいですね。



つちもと みのる 議員
土本 稔

社会教育施設

問 方向性を示せ

答 来年度予算化について検討する

○ふるさと創修館やカルチャーセンター飛翔の図書室は、震災から1年9か月経過するが、いまだに再開していない。ふるさと創修館において、8月の豪雨により雨漏りが見つかった。場当たりのな補修ばかりで、施設のあり方や方向性が見えない。復興とは、壊れた箇所を修復する意味以外に、興すとは新しく物事を始めることや、衰えたものを再び勢いづかせる意味がある。さらなる住民サービスの向上へと導く施策や勢いづかせる創意工夫が必要である、とあるが今後の施設の在り方、方向性は。

▲ふるさと創修館は、曳山や郷土資料などの文化財を集約した資料館として考えている。カルチャーセンター飛翔は、子どもから高齢者までが楽しめる施設として、周辺施設を含めた複合施設として考えている。まずは基本構想などで方

向性を示す必要があり、予算化について検討する。

保育園空調設備

問 遊戯室に空調設備導入を

答 来年度の夏までに対策を講じる

○今定例会で中学校アリーナ棟の空調設備事業が計上されている。避難所としての役割もあり、否定しないが、体育館の空調設備に関して、体が小さく自己管理が難しい小学校から導入するのが本来の順番ではないか。また、保育園に関して調べると、遊戯室に空調設備があるのは、さくら保育園の二つだけ。子育ての充実と言いながら「これでもいいのか中能登町」である。遊戯室の空調設備導入を。

▲子供たちの健やかな成長と保護者の安心につながる保育環境の整備に努める。来年の夏までにできるよう対策を講じていきたい。

その他の質問

▼不登校支援について

「議員のなり手不足」解消を考える

～議会の活動の見える化と魅力化～

議会行革・活性化特別委員会 8月21日(木)

中能登町議会がこれまで以上に町民の皆さまの身近な存在であり、またその願いを町政により反映されることを目指し、また私たち議員の活動を通して議員となって共に町の発展のために汗をかく仲間を増やすためにどう取り組んでいけばよいかと議員間で話し合いを持ちました。

まず、議会そして議員の活動の「見える化」を目指すこと、そしてそれに向けて具体的な活動を展開していくこと等が話されました。直接町民の皆さんのご意見をお聞きする議会報告会や懇談会等の開催や、子ども議会、青年議会の開催等様々な意見が飛び交いました。

一方で、若い世代の方が議員を目指す壁となっていたり、また次代の流れに合わせ議員報酬の改定、それに伴い定数をどうするかというところまで議論が展開しました。

令和8年6月の町議会選挙を控え、今我々議員に何ができるのか、問い続け、実践していきたいと考えております。

「私」を捨て「公」に尽くせ

～読売新聞特別編集委員 橋本五郎氏からの言葉～

町会議員・町監査委員合同研修会 8月26日(火)

報道番組でおなじみの橋本五郎氏の講演「今後の政局・政治の動きを読む」を聞く機会をいただきました。

石破内閣はどうなっていくかという切り口から始まり、政権を維持していくためには、長期にわたった安倍政権を例にいかんにか支えてくれる仲間たちをそろえるかと語られていました。また橋本氏が強く主張されたのは、自由と独立のために戦うウクライナの国の人たちを挙げ自分たちの国、自分の故郷は、自分で守れ。自分たちでやれ!というものでした。

最後に自分はどうかあるべきかという問いに常に「『私』を捨て『公』に尽くせ」と力説されていたことが大変印象に残りました。

今後の議員活動に大いに活かしていかなければならないと感じるお話でした。

防災備蓄倉庫建設設置へ

中能登町復旧・復興プランにあるリーディングプロジェクトの推進並びに町地域防災計画の修正を踏まえ、防災拠点・防災支援拠点整備方針策定業務により、防災備蓄倉庫の実施設計、工事を行うと報告がありました。

災害発生時、避難者想定数の備蓄品及び防災資機材を保管する倉庫で、今年度は1か所設置を予定しており、今後2～3か所設置する方針です。



防災備蓄倉庫イメージ

復興公営住宅建設スタート

中能登町復興公営住宅整備事業について、選定事業者が決定しました。選定事業者は『(株)平蔵建設+(株)家元+(株)西和人一級建築士事務所』です。

能登半島地震で住居が被災し、自己再建ができない世帯を対象にした公営住宅であり、能登部下地区の励志館跡地にて、令和8年8月完成、同年9月入居を予定しています。



復旧公営住宅イメージ

町内の保育園へALT派遣

令和7年度から英語教育の推進のため年少からより早い段階から英語に親しめるようにとALT(外国籍の英語教育補助員)が町内の保育園へ派遣されています。

委員会として10月20日、ALTの先生が派遣されるあおば保育園に視察に行きました。ALTの先生はジャマイカ出身のシャネルさんで、「A、B、C…」とてもやさしく丁寧に子どもたちと接しておられ、子どもたちも目をキラキラさせてふれあっていました。私たちの世代には考えられなかった光景で、接するだけでなく、多様性をはぐくむという点でも他国の人々、そしてその文化と触れ合うことがとても大切だと感じました。

中能登町独自の事業であり、今後も継続していきたいと思います。



教育民生常任委員会

部活動の「地域展開」に向けて ～「総合型地域スポーツクラブ」設立を目指す～

町では中学校の部活動の地域展開(地域移行)を進めており、その受け皿となる総合型地域スポーツクラブの設立に向けての取り組みが進んでいます。

町教育委員会を中心に、長崎県長与町の教育長を招き先行事例の勉強会開催、関係者との意見交換、先進地視察と中能登町に合った総合型地域スポーツクラブの在り方が模索されており、令和8年3月までに総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会を立ち上げる予定です。

学校の枠を越えて地域全体で子どもたちの活動機会を広げ、さらに町民一人ひとりが主体的に健康づくりに取り組み、子どもからお年寄りまで生涯にわたりスポーツに親しむことができる仕組み作りを委員会で今後協議していきます。

天空の城・大野城下で室内遊戯施設を視察 教育民生常任委員会視察

9月29日(月) 福井県大野市で小中学校の英語教育、室内遊技場おおの天空パークOSORAの視察を委員5名で行いました。令和5年の福井県庁で行った視察・英語教育日本一、子育て支援日本一を実際に実践している自治体を視察する目的です。

大野市役所において学んだ小中学校の英語教育については、子どもたちが自信を持って次にチャレンジできるように、当町でも行っているアプリやICT活用、それに加え習熟度格差を減らすための教員の加配、教員の英語力の底上げ、県全体でのGTEC受験推進など、英語学習のロードマップができているのが素晴らしいと感じました。



次に視察した令和7年1月に旧小学校体育館を県からの補助金を活用してオープンした室内遊戯場おおの天空パークOSORAは名前を子どもたちから公募して決めたそうです。管理運営は遊具などを製造する株式会社ジャクエツで、県内最大規模のネット遊具やユニバーサルデザイン遊具など様々な利用者のニーズに対応しています。福井工業大学との連携で市の特性を生かすモノづくりなどのワークショップも展開し、市内の飲食店とも連携して子連れに配慮したアピールなど市が一つとなり子育てに優しい市を作っている印象でした。

子育ての町・中能登町でも今回の視察から学べるところがないかを今後、委員会で協議していきます。大野市役所では震災直後に福井県からの上下水道調査派遣で来られた現議会事務局員の辻さんに直接感謝の言葉をお伝えすることができました。

「LAKUNAはくい」を視察

8月26日(火)、議会で商業施設跡地を活用した、羽咋のみらいをとす、「集い、ふれあい、新たな賑わい」交流拠点として、誕生したラクナはくいを見学しました。

広場と建物のテラス空間が立体的に繋がっている素晴らしい施設で、子どもから大人まで様々な世代が集うふれあい広場でした。また、学習スペースやキッチンスタジオ、アートスタジオ、eスポーツスタジオ、そしてホールや個室を望む方用の部屋、など様々な部屋が整備されていました。「市外から時々遊びに来るんです」という方が図書カフェでお母さんは本を読み、子どもはゲームをしたりして過ごしていました。グループでお茶をしたり、リラックスムードでした。小さい子ども用オムツやおしりふき、また、ベビー用飲み物までの自販機がありました。特に今年は暑い日が続いたので、この様な施設は夏に絶好の場所。またこれからの寒い季節、子どもたちにとって最適の場所であり、当町でも参考にしていきたいです。



紀宝町(姉妹町)との交流

10月19日(日) 姉妹町である三重県紀宝町へ第19回紀宝みなとフェスティバルに議会から招待いただきました。前週は当町の町制20周年記念音楽イベントに副町長はじめ議長、職員のみなさんとの交流もありました。中能登町から今年初参加されたNAORAIさんをはじめ、当町からの特産品が出店され、町のPRを行いました。活気あふれ大いに盛り上がったお祭りでした。会場では約1時間ごとに防災を意識づける放送が行われていたことに防災意識の高さを感じました。

今後も、議会や役場職員、商工会、教育関係者などがこれまで以上に関係性を深め更なる連携に取り組んでいきます。



議会からのお知らせ

12月定例会議の日程

月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5 午前10:00 議案上程 提案理由説明 質疑など	6	7
8 午前10:00 教育民生 常任委員会 午後1:30 総務建設 常任委員会	9 午前10:00 予算決算 常任委員会	10	11	12	13	14
15 午前10:00 一般質問	16 午前10:00 一般質問 (予備日)	17	18 午後1:30 全員協議会 午後3:00 委員長報告 質疑・討論・採決	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

定例会議はケーブルテレビ「なかのとチャンネル」で中継します。

みなさんの傍聴を
お待ちしております。



会議等出欠状況

○…出席 ×…欠席 △…早退・遅刻 ー…委員外
オ…議長が各委員会にオブザーバーで出席

月	日	議席番号	議員名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
			木下 智治	三浦 克欣	合田 宏	角 久子	澤 良一	古玉 いづみ	尾田 良一	土本 稔	笹川 広美	南 昭榮	甲部 昭夫	坂井 幸雄	
7月															
10日		議会行革・活性化特別委員会		○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	×
15日		教育民生常任委員会		ー	○	ー	○	ー	○	○	○	○	○	ー	ー
15日		総務建設常任委員会		○	ー	○	ー	×	ー	ー	ー	ー	○	○	×
18日		議会運営委員会		ー	○	○	ー	ー	○	ー	ー	ー	○	○	×
31日		全員協議会		○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×
31日		随時会議		○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×
8月															
18日		教育民生常任委員会		ー	○	ー	○	ー	○	○	○	○	○	ー	ー
18日		総務建設常任委員会		○	ー	○	ー	×	ー	ー	ー	ー	○	○	×
21日		議会行革・活性化特別委員会		×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	×
29日		全員協議会		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
9月															
5日		9月定例会議 初日		○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×
8日		総務建設常任委員会		○	ー	○	ー	○	ー	ー	ー	ー	○	○	×
9日		予算決算常任委員会		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
10日		議会運営委員会		ー	○	○	ー	ー	○	ー	ー	ー	○	○	×
10日		予算決算常任委員会		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
11日		予算決算常任委員会		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
12日		予算決算常任委員会		○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×
18日		一般質問		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
19日		一般質問		○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×
24日		全員協議会		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
24日		9月定例会議 最終日		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
29日		福井県大野市議会視察研修		ー	○	ー	○	ー	○	×	○	○	ー	ー	ー

ようこそ中能登町議会へ

令和7年10月2日に福島県岩瀬地方町村議会議長会から視察に訪れていただきました。

★ 福島県岩瀬地方町村議会議長会

- ・ 令和6年発生の能登半島地震からの復旧・復興について
- ・ 防災拠点「道の駅 織姫の里なかのと」視察



令和7年10月8日に和歌山県由良町議会から視察に訪れていただきました。

★ 和歌山県由良町議会

- ・ 令和6年能登半島地震における被害状況、復旧・復興の取組について



わかりやすい議会を目指して 議会モニターとの意見交換会

8月21日(月)に議会モニターを務める三島秀信さん^{みしまひでのぶ}、浜道一英さん^{はまみちかずひで}と議会との意見交換会が行われました。

- ① 議会の運営に関して、議会でのNGワードの認識、無断欠席や遅刻、プロポーザル契約への監視強化、委員会の開催時間
- ② 議会だより及び議会のホームページに関して、定例会議議事録の掲載時期
- ③ その他、委員長長期欠席、庁舎統合

など多くの貴重なご意見をいただきました。真摯に対応し今後の議会運営に反映させ、より開かれた町民にとってわかりやすい議会、議会広報誌を目指していきます。





音楽イベントでインタビュー！

10月12日(日)にレクトピアパーク周辺で開催された町制20周年記念音楽イベントで聞きました！当日は姉妹町・紀宝町からのみかん販売や災害時相互応援協定を結ぶ津幡町からの大の里特大パネル登場など連携自治体からの参加もあり大いに盛り上がりました。メインの一青窈さんの歌声に涙する方も多く、また開催してほしい！の声も多く上がりました。



寺田さん(良川)
またこういった盛り上がるイベントをやって欲しい。



**高森さん、古玉さん、近藤さん、
上野さん(小学5年生)**

友達と楽しめました。安いお店がたくさんあるといいな。またイベントやって欲しいです。



島橋さん
色んな屋台があってみんな楽しそうでした。



大家さん(姉妹町・三重県紀宝町)
今日はみかんの販売に来ました。今後も引き続き協力関係を築いて助け合いながら良い町関係を築いていけたらいいです。



岡さん(二宮しぎの団地)

みかんを楽しみに来ました。また夏などに毎年こういったイベントを開催して町外からも来れるようにして欲しい。



比留間さん、サヴェンコさん(徳前)
ちびっこからお年寄りまで楽しんでいて良いイベントですね。一青窈さんを駅の音楽で知りました。能登に来てくれて嬉しかったです。



セバスチャンさん、デルフィンさん(久江)
コンサートを楽しみに来ました。中能登の自然、特に山が好きです。地域のお祭りも楽しんでいます。



会場で見せてくれたあの笑顔을忘
れず、元気でまた来年も！と願わずに
はいられませんでした。
老いも若きも
笑顔あふれる元
気な中能登町
に、そんな思い
を改めて感じさ
せてくれた、民
生児童委員の皆
さんに感謝！
角 久子



編集後記

今回は鹿島地区の「ふれあいの集い」
にお邪魔させていただきました。

なかなか集う事が少ない、一人暮らしの皆さんに楽しんで頂くという思いで民生児童委員の皆さんが企画。五年生の児童が張り切つて歌、クイズ、踊りなど趣向をこらした演出や、委員の皆さんで座って出来る運動も笑顔の中、見よう見まねでやっておいでました。そして日本舞踊と中々濃いひとときを過ごされました。

【議会広報特別委員会】

委員長 古玉いづみ
副委員長 合田 宏
委員 尾田 良一
角 久子
三浦 克欣
木下 智治